

編 集 後 記

- ・湾岸戦争が終わっても、世界はなお揺れ動いている。インドのラシブ・ガンジー元首相の暗殺に象徴されるように、多くの火種を抱えて90年代の世紀末は動いていくのだろう。国際化、情報化、高齢化の3つが現代社会を考えるキーワードといわれている。本誌は、その3つを社会保障の観点から追求することを課題としており、目まぐるしく動く海外のニュースをどう料理していくか、その力量が問われてくる。湾岸戦争、クルド難民問題にみられるわが国政府の国際感覚の欠如は、長く閉鎖的な島国に住んできたわれわれの国民意識の反映でもある。「目は世界に、心は祖国に」がこれまで以上に求められる時代となった。
- ・1991年 Summer 号をお届けします。フランス、イギリス、アメリカ、中国、フィンランド、オーストラリア、デンマークについて高齢者対策、児童福祉、障害者福祉、年金制度など各国の社会保障の取組みを紹介しており、いずれの国も懸命な努力を続けているのがよくわかる。文化大革命による伝統的養老、敬老思想の崩壊後の老人扶養の問題(中国)、EC統合によって突出した福祉政策が許されない現実(デンマーク)など、社会の変化が社会保障を大きく動かしている。研究機関紹介『イエンシェピン老年学研究所』のめざす研究調査ネットワークがますます重要になっている。
- ・本号から編集幹事に変更になり、3名のチームワークで出発する。これまでの流れをふまえ、そして社会の新しいニーズも取り入れながら社会保障のダイナミズムを反映した誌面を作っていきたい。そのためには、読者諸氏のご意見・ご協力を願うのみだ。(T)

編集委員長	宮澤健一	(社会保障研究所長)	野口悠紀雄	(一橋大学教授)
編集委員	稲上毅	(法政大学教授)	三浦文夫	(日本社会事業大学教授)
	郡司篤晃	(東京大学教授)	宮島洋	(東京大学教授)
	小山路男	(社会保障研究所顧問)	貝塚啓明	(東京大学教授)
	地主重美	(駿河台大学教授)	庭田範秋	(慶応義塾大学教授)
	島田晴雄	(慶応義塾大学教授)	堀勝洋	(社会保障研究所研究部長)
	袖井孝子	(お茶の水女子大学教授)	高木安雄	(社会保障研究所研究員)
	高藤昭	(法政大学教授)	栗沢尚志	(社会保障研究所研究員)
	都村敦子	(日本社会事業大学教授)	下夷美幸	(社会保障研究所研究員)

海外社会保障情報 No. 95

平成3年6月25日発行

定価1,340円(本体1,301円)

(送料210円)

編集・発行 **社会 保 障 研 究 所**

〒107 東京都港区赤坂2丁目19番8号

(赤坂2丁目アネックスビル内)

電話 03 (3589) 1381

製作・発売 **第一法規出版株式会社**

〒107 東京都港区南青山2丁目11番17号

電話 03 (3404) 2251(大代表)

振替口座 東京 3-133197
